

## 1 活動名

給食費の無償化について

視察先 兵庫県 相生市

## 2 調査の目的

### (1) 本市における課題

日頃子どもの貧困に関わってきた中で、給食費が、家庭の中で大きな負担になっていると考える。

### (2) 調査の必要性

給食費を無償化している自治体を視察し、今後の市政に生かしたい。

### (3) 調査項目

給食費の無償化を実施している取組みの経過と現状について。

## 3 調査地選定理由

相生市

相生市では、「子育て応援都市」宣言をしている。

子育て事業の1つとして、給食費無料化事業をおこなっている。

## 4 調査結果

(1) 実施日 2017年7月5日(水)

(2) 出席者 4名 澤田佐久子、犬飼明美、南山国彦、池田国昭

(3) 兵庫県 相生市

相生市では、「子育て応援都市宣言」をしていて、子育てしやすい環境をつくるために「11の鍵」という子育て支援策があり、その一つに「幼・小・中学校の給食費の完全無料化事業」がある。人口3万人、給食費無料化の費用1億600万円と本市とはケタ違いだが、相生市教育委員会が掲げている「子育て支援と学校給食の充実」の考え方が素晴らしいと思った。いくつかあるが、その1つとして「市内の幼稚園から中学校までの子どもたち全員が何の心配もなく同じ教室で友達や先生と一緒に同じメニューの温かい給食が食べられる。何でもないこ

とようですが、こどもたちの情緒面の安定に大いに役立っています。」  
また、「相生市民の温かい支えに対して、学校園において、子どもたちの感謝の気持ちを育むようにしています」など。完全無料化について、一部補助という考え方は、無かったか？の私の問いに担当課の方は、「1 か 100 のどちらかしかなかった」ときっぱりと答えられたのが印象的だった。

なお、就学援助で給付されている給食費については、逆に返金しているわけだが、問題は起こっていないとのことだった。

#### (4) 成果・所感等

全国的にも、少子化対策として、無償化している自治体が増えているので、相生市のように、子育て支援・教育の一環として、すすめてほしい。引き続き、給食費の無償化について、他の自治体の例も参考にしながら、これからも本市に、求めていきたい。